

忝所許之職望請殊蒙官裁因准先例被給三善朝臣姓將仰奉公之貴者左大臣宣奉勅依請者省宜承知依宣行之符到奉行

左少辨

左大史

貞元二年五月十日

〔古今著聞集^七〕術七宇佐大宮司なにかしとかや癩病をうけたる由聞へ有て一門の者共改補せらるべきよし訴へ申ければ大宮司はせのぼりて醫師にみせられて實否をさだめらるべきよし奏し侍ければ和氣丹波のむねとあるともがらに御尋有けり中原貞説もおなじく召に應じて御尋に預りけり各自らいといふ病のよしを奏しけり療治すべきよしの勘文奉るべきよし仰下されければめんく罷出てゑるして參らすべき由申けるに貞説申けるは非重代の身にて一卷の文書のたくはへなし知りて侍る程の事は當座にて考申べしとて則ち申けりもろもろの醫書共皆悉く引のせてゆしく注申たりければ叡感有て申うくるに隨て和氣の姓を給はせける後には諸陵^{ミヤキ}正に成て子孫いまにたえず

〔朝野群載^九〕功勞正六位上行内膳典膳菅原朝臣有隣誠惶誠恐謹言

請特蒙天恩因准先例改菅原氏賜本姓惟宗遷任左衛門志即蒙檢非違使宣旨狀

右有隣謹檢案内出法曹居諸司之者遷金吾至廷尉載在竹帛不遑羅縷又改氏姓仕道志者明法博士資清是也有隣嬰孩之日外祖父有眞收養爲子仍入彼戶爲菅原氏傳兩祖之風苟繼箕裘嗜二章之道已及強仕金科玉條披文道之遺草而可探勘問糺彈以有眞之庭訓而可決望請天恩因准先例改菅原氏賜本姓惟宗遷任伴官職將知儒胤之異他矣有隣誠惶誠恐謹言

永久三年正月十三日

正六位上行内膳典膳菅原朝臣

〔朝野群載^八〕別奏式部省